

5G・Beyond 5Gの多様なサービスに対応する

有線・無線アクセスネットワークのプラットフォーム技術の研究開発

柔軟性・迅速性・省力性を従来よりも格段に向上させる革新的な有線・無線アクセスネットワークのプラットフォーム技術を開発し、IoT時代の5G・Beyond 5G等による多様な通信サービスを収容可能とする。

背景と課題

将来のIoT時代では、5G・Beyond 5Gによる高速通信・大量機器間通信・超低遅延通信などの多様な通信サービスを一つのネットワーク基盤で収容可能なアクセスネットワークが求められる。

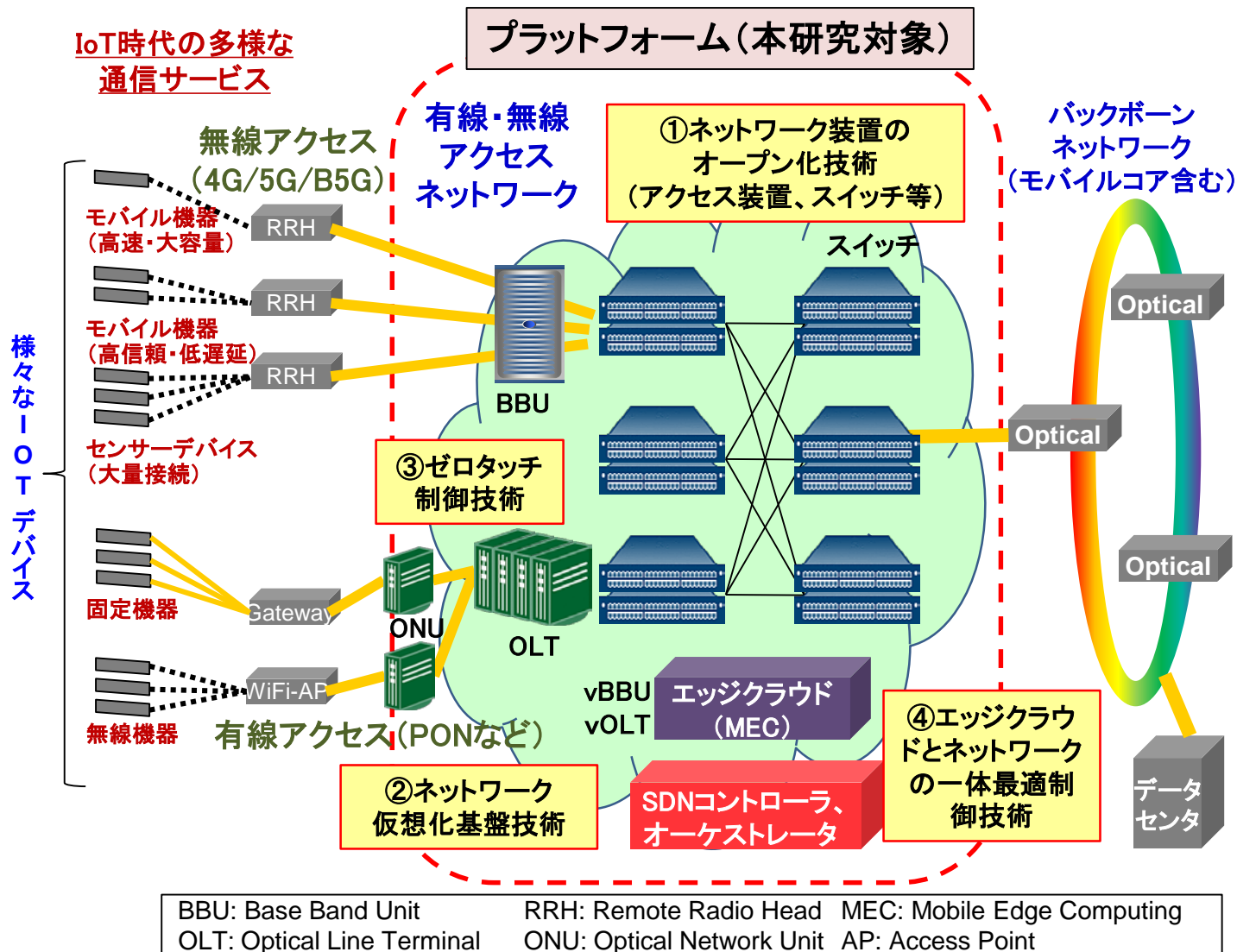
研究開発の目的

本プロジェクトでは、従来よりも柔軟性・迅速性・省力性を格段に向上させたアクセスネットワークを実現するために、革新的な有線・無線アクセス領域のプラットフォーム技術の研究開発を実施する。

研究開発の概要

本プロジェクトでは、以下の技術の研究開発を実施する。

- ①ネットワーク装置のオープン化技術
- ②ネットワーク仮想化基盤技術
- ③ゼロタッチ制御技術
- ④エッジクラウドとネットワークの一体最適制御技術



研究開発期間：2018年度（契約締結日）から2020年度末までの3年間（第1期）

（2021年度から2022年度までの2年間（第2期）については、次期中長期目標の状況等も踏まえ、継続について検討する。）

2018年度予算：50百万円（上限）

採択件数：1件